

和太鼓「堂打」有終の美

西九州大卒業公演

佐賀市
神埼市

4年前に結成した西九州大学の和太鼓サークル「堂打」(23人)の卒業公演が23日、佐賀市民会館であった。

ほとんどが初心者で、当初はタイヤで練習していたサークルにとって、念願だった初の大舞台。創設メンバーは、4年間のすべてを出し切るように太鼓を力いっぱい打ち鳴らし、有終の美を飾った。

会場には、メンバー2週間前に完成させた友人や家族ら約550人が詰めかけた。公演は、オリジナル曲や即興曲など8演目で構成した。迫力のある太鼓の音で、会場では自然と拍手が起り、かけ声が飛んだ。

最終演目「鳳凰の音」は、入学から卒業までを卵から巣立ちに見立てた曲。唯一の経験者で部長の清田慎也さん(4年)が、公演

公演で清田さんは「タイヤから始めた初心者の集まりでしたが、この舞台を踏むことができて本当に良かった。ありがとうございました。サークルは23人中、



卒業公演で力いっぱい太鼓を打ち鳴らす清田さん(中央)ら「堂打」のメンバー＝佐賀市民会館

即興曲など迫力の演奏

いました」と感謝の言葉を述べた。16人が卒業する。在校生7人が活動を続ける。(山口貴由)